

兵庫県
防災
ツーリズム



兵庫県
防災
ツーリズム



「防災」×「観光」

楽しく学び、防災と観光に触れる。

兵庫県では、これまで阪神・淡路大震災や北但大震災等、数多くの自然災害を経験してきました。そこで得た経験や教訓等を世代や地域を越えて継承するために「防災ツーリズム」の推進に取り組んでおります。「防災ツーリズム」は、兵庫県内に集積する国内随一の防災関連資源と豊富な観光資源を活かして、今後、起こりうる災害に向けて、自分たちの命を守るための防災学習を体験するとともに、兵庫県の魅力を体験する内容となります。防災ツーリズムを通じて、「防災」×「観光」で、楽しく防災を学びながら、是非、兵庫県の魅力に触れていただきたいです。



INDEX



school

教育者向けプログラム 03

1. 震災ときにタイムスリップ!
2. 被災者・避難者の観点から防災を学ぶ
3. 自分たちの街は自分たちで守る



company

企業 CSR向けプログラム 09

4. 城崎温泉復興の歴史から学ぶ
5. 豊岡復興建築群から学ぶ

災害への備え 13

今のうちにできること



01 教育向けプログラム(中学生向け)

震災当時にタイムスリップ!阪神淡路大震災の歴史を学ぶ

02 教育向けプログラム(高校生向け)

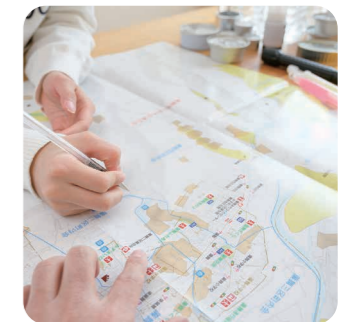
被災者・避難者の観点から防災を学ぶ



自分事としての【震災体験学習】

避難場所体験や語り部体験等の複数のメニューを組み合わせた体験型のプログラムを通じて、災害に遭遇した時の生き抜くための知恵を学ぶことができます

防災ツーリズム オリジナルコンテンツ



避難所体験

炊出し体験

ガイド街歩き

マイタイムライン

いざという時、自分や大切な人を守るために。避難所の環境を再現し、限られた状況の中での過ごし方を学ぶ避難所体験や、災害時に必要な食事の準備を実践する炊出し体験、街を歩きながら防災の視点で身近なリスクや安全な行動を考えるガイド街歩きを通じて、防災の知識と行動力を身につけませんか?楽しみながら学べる実践的なプログラムは、学校や自治体の研修にもおすすめ。

マイタイムライン作成

マイタイムラインという、防災行動計画を作成します。地震のみならず台風などのあらゆる災害が起こった際に、取るべき標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。

ツーリズム開催施設 ふたば学舎

ふたば学舎は、2008年に惜しまれつつ約80年の歴史に幕を閉じた旧二葉小学校が、地域近隣住民の熱い想いを受け、2010年に新しく誕生したコミュニティ施設です。現在、多岐にわたる分野での地域活動拠点となる一方、どなたでも気軽に参加できる文化講座・体験学習の実施による交流・学びの場を提供する共に、歴史・文化、ものづくりを通じた市民のみなさまの地域活動への参加を支援することで、地域活性化を担う人材育成を目指しています。





01 教育向けプログラム(中学生向け)

震災当時にタイムスリップ!阪神淡路大震災の歴史を学ぶ



自分事としての【震災体験学習例】

段ボール等を使い、実際に震災が起きたことを想定した避難所体験を実施します。またそのまま炊き出しでの昼食を取り、阪神淡路大震災の際に出されたカレーや豚汁を食すことで、支援の大切さ・命の尊さをより深く感じます。その後、ふたば学舎のガイドと一緒に、阪神淡路大震災で壊滅的な被害を受けた新長田地区のまち歩き体験を行います。震災直後の写真を交えることで、視覚的・聴覚的に当手を振り返ることができます。



02 教育向けプログラム(高校生向け)

被災者・避難者の観点から防災を学ぶ



自分事としての【震災体験学習例】

避難所体験では、避難所でのトラブル対応や運営を体験し、実用的な避難所知識を学びます。バッククッキング体験では、高度な防災食を実施。通常の調理より圧倒的に水を節約でき、物資不足の災害時を想定した実用的な体験を提供します(炊出体験も可能)。ふたば学舎のガイドとともに、阪神淡路大震災で壊滅的な被害を受けた新長田地区のまち歩きを実施。震災直後の写真を交え、視覚・聴覚で当手を振り返ります。

コンテンツ内容	【コンテンツ名】 ①所要時間 ②受入人数 ③その他		
	【避難所体験】 ①60分～90分 ②15名～200名 【炊出し体験】 ①45分～60分 ②15名～200名 ③食材費として400円程要 【ガイド街歩き】 ①60分～90分 ②15名～120名(調整可能) ③ガイド1名あたり15名前後を対応可能 【マイタイムライン作成】 ①60分(発表時間込の場合、90分程度) ②15名～120名 ③地元地域のハザードマップの事前共有が必要		
オリジナルポイント	マイタイムラインという、防災行動計画を作成します。地震のみならず台風などのあらゆる災害が起こった際に、取るべき標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。		
対応施設	ふたば学舎		
設定日	通年(毎週月曜日は休館日)		
料金	総体験時間が2時間未満: 2,000円 総体験時間が2時間以上: 3,000円	キャンセル規定	実施日が近い場合は要相談
最少催行人数	15名	最大受入人数	体験種目によって変動
所要時間	90分～480分(旅行行程によって調整可)		
予約に際しての必要情報	①利用日時 ②学校名 ③代表者名 ④ご人数 ⑤連絡先 ⑥炊出し実施の有無		
施設情報・問合せ先	〒653-0042 兵庫県神戸市長田区二葉町7丁目1-18 TEL: 078-646-8128 FAX: 078-646-8138		

コンテンツ内容	【コンテンツ名】 ①所要時間 ②受入人数 ③その他		
	【避難所体験】 ①60分～90分 ②15名～200名 【バッククッキング体験もしくは炊き出し体験】 ①90分～100分 ②15名～200名(バッククッキングは最大36名まで) ③食材費として400円程要 【ガイド街歩き】 ①60分～90分 ②15名～120名(調整可能) ③ガイド1名あたり15名前後を対応可能 【マイタイムライン作成】 ①60分(発表時間込の場合、90分程度) ②15名～120名 ③地元地域のハザードマップの事前共有が必要		
オリジナルポイント	マイタイムラインという、防災行動計画を作成します。あらゆる災害が起きた場合を想定し、避難ルートや行動時系列を整理します。作成の際には学校や家族単位でのタイムラインも作成し、留意すべきことや取り組むべきことなどを共有・発表する場を設けます。また災害時の被災者に対する支援制度などについても学びます。		
対応施設	ふたば学舎		
設定日	通年(毎週月曜日は休館日)		
料金	総体験時間が2時間未満: 2,000円 総体験時間が2時間以上: 3,000円	キャンセル規定	実施日が近い場合は要相談
最少催行人数	15名	最大受入人数	290名
所要時間	90分～370分(旅行行程によって調整可)		
予約に際しての必要情報	①利用日時 ②学校名 ③代表者名 ④ご人数 ⑤連絡先 ⑥炊出し実施の有無		
施設情報・問合せ先	〒653-0042 兵庫県神戸市長田区二葉町7丁目1-18 TEL: 078-646-8128 FAX: 078-646-8138		





04 企業向けプログラム(BCP担当向け)

豊岡復興建築群から学ぶBCPプログラム

05 企業向けプログラム(CSR担当向け)

城崎温泉復興の歴史から学ぶCSRプログラム



BCPオリジナルポイント

震災の歴史を学ぶ講義

ガイド街歩き

BCP研修

北但大震災時の豊岡市の復興ストーリーを学ぶことで、自然災害やテロにおける事前対策やリスクマネジメントの重要性を認識します。その後、自分・自社の立場に置き換えて考えることによってBCPへ意識・意欲向上に繋がります。



CSRオリジナルポイント

震災の歴史を学ぶ講義

ガイド街歩き

CSR研修

CSR(企業の社会的責任)の内容を中心に城崎温泉のガイディングを行います。またリーダーシップ研修では、同じくCSRの観点から城崎復興に尽くした人物の功績や復興までのプロセスを学びます。その後、自分の立場に置き換え、どのように行動をするべきかを考えます。

ツーリズム開催施設

一般社団法人マチノイト

約100年前の1925年に発生した北但大震災によって豊岡や城崎は、建物は崩壊し、多くの命も奪われ、壊滅的な被害を受けました。そこからの創造的復興において、豊岡・城崎それぞれで異なるプロセスを経ています。特に豊岡市街には、復興に向けて建設された建物が今も「豊岡復興建築群」として35棟残っており、火災の延焼を防止するために鉄筋コンクリートで建てられた洋風レトロな建築群として注目を浴びています。

【BCPとは】

BCPとは「事業継続計画(=Business Continuity Plan)」を意味し、自然災害やテロなど緊急事態が起きた場合に迅速な事業の継続・早期復旧を可能とするため、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法・手段などを取り決めておく計画のことです。

【CSRとは】

CSRとは直訳すると「企業の社会的責任(=Corporate Social Responsibility)」を意味し、自社の利益だけでなく、地域社会への貢献や環境保全など社会をより良くするために行動し、社会とともに発展していくための考え方です。





company

04 企業向けプログラム(BCP担当向け)

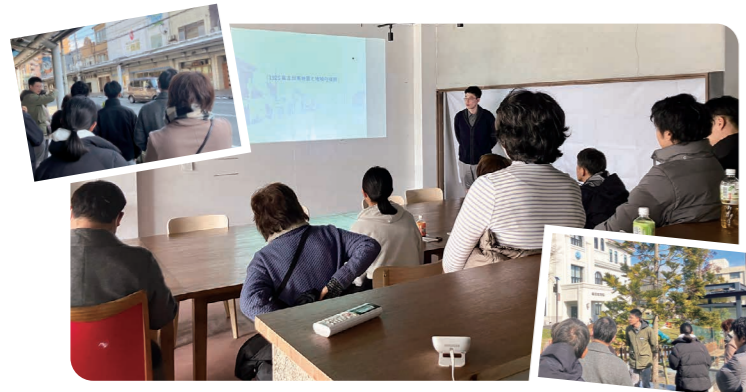
豊岡復興建築群から学ぶBCPプログラム



company

05 企業向けプログラム(CSR担当向け)

城崎温泉復興の歴史から学ぶCSRプログラム



自分事としての【震災体験学習】

約100年前の1925年5月23日に発生した「北但大震災」。マグニチュードは6.8を記録し、約420名の尊い命が奪われた大震災は、豊岡市街地にも甚大な被害をもたらし、多くの建物が崩壊・焼失した。震災を機に大復興計画へと舵を切ることで、迅速な震災復興へとつながった。その背景からBCPの観点における、災害前リスクマネジメントの重要性を学びます。その後ガイドとともに復興建築群である豊岡市街地を巡ります。



自分事としての【震災体験学習】

約100年前の1925年5月23日に発生した「北但大震災」。城崎温泉では地域住民が主体となって温泉地の風情を残した町並みとして復興を成し遂げました。研修では復興を牽引したリーダー達の考え方を知り、復興時のコンセプトがその後の100年でどう変化してきたかを学ぶことで、自社が災害にあった際の行動規範のあり方を考えます。その後ガイドとともに実際に城崎温泉を巡り、観光地としての魅力を味わいます。

コンテンツ内容	【コンテンツ名】 ①所要時間 ②受入人数 ③その他		
	<p>-----</p> <p>【北但大震災の歴史を学ぶ講義】 ①30分 ②20名前後 ③別途、会場使用料が必要</p> <p>【ガイドと行く豊岡市街地まちあるき】 ①60分～90分 ②20名前後 ③5名までは一律1万円、以降は追加1名ごとに1,500円（90分コースは料金が1.5倍） 90分コースでは豊岡劇場などエリアをさらに広げたまち歩きをお楽しみいただけます</p> <p>【BCP研修】 ①30分 ②20名前後 ③別途、会場使用料が必要。 より専門的な研修を希望する場合は外部講師の手配も可能。（別途、謝礼金が必要）</p>		
対応施設	一般社団法人マチノイト		
設定日	不定休のため、問い合わせ後に調整。		
料金	3万円～ (施設使用料やご人数によって変動いたします)	キャンセル規定	※設定中
	最少催行人数	5名	最大受入人数 20名
所要時間	<p>下記3枠をベースに、ご旅行行程に応じてご相談ください。</p> <p>(1)9:30～12:00 (2)13:00～15:30 (3)16:00～18:30</p>		
予約に際しての必要情報	①利用日時 ②団体名 ③代表者名 ④ご人数 ⑤連絡先		
施設情報・問合せ先	〒653-0042 兵庫県豊岡市中央町1番4号 Mail : info@machinoito.jp		

コンテンツ内容	【コンテンツ名】 ①所要時間 ②受入人数 ③その他		
	<p>-----</p> <p>【北但大震災の歴史を学ぶ講義】 ①30分 ②20名前後 ③別途、会場使用料が必要</p> <p>【CSRリーダーシップ研修】 ①30分 ②20名前後 ③別途、会場使用料が必要</p> <p>【ガイドと行く城崎まちあるき】 ①60分～90分 ②20名前後 ③5名までは一律1万円、以降は追加1名ごとに1,500円（90分コースは料金が1.5倍） 90分コースではまち歩きに加え、簡単な食べ歩きや足湯体験をお楽しみいただけます。</p>		
対応施設	一般社団法人マチノイト		
設定日	不定休のため、問い合わせ後に調整。		
料金	3万円～ (施設使用料やご人数によって変動いたします)	キャンセル規定	※設定中
	最少催行人数	5名	最大受入人数 20名
所要時間	<p>下記3枠をベースに、ご旅行行程に応じてご相談ください。</p> <p>(1)9:30～12:00 (2)13:00～15:30 (3)16:00～18:30</p>		
予約に際しての必要情報	①利用日時 ②団体名 ③代表者名 ④ご人数 ⑤連絡先		
施設情報・問合せ先	〒653-0042 兵庫県豊岡市中央町1番4号 Mail : info@machinoito.jp		



今のうちでできること

防災への備え



EMERGENCY GOODS

防災グッズで備えよう

防災時に最低限これだけ必要というチェックリストを用意しました。ここからさらに家族構成やお住まいの市町村にあわせて必要な防災グッズは多岐に渡りますこの機会に家族で話し合いながらチェックリストで確認しましょう。



チェックリスト

持ち歩き用のグッズ

ポーチなどで常に持ち運ぶ

- 食料 チョコレートなどの携帯食
- 飲料 ペットボトル
- 貴重品 印鑑 現金 現金通帳
- 情報 電池 携帯 ホイッスル
- 温度対策 カイロ 折り畳み傘

避難用のグッズ

- 食料 カップ麺 食品
- 飲料 ペットボトル
- 必需品 毛布 ライター 缶切り
- ロウソク ナイフ 衣類
- 手袋 哺乳瓶 ラジオ
- ヘルメット 防災頭巾

家庭備蓄の例

1週間分 / 大人2人の場合

必需品	水 2L×6本×4箱 ※1人1日およそ3L程度 (飲料水+調理用水)	お好みのお茶や清涼飲料水なども、あると便利!	カセットコンロ・カセットボンベ×12本 ※1人1週間およそ6本程度
主食 エネルギー 炭水化物	米 2kg×2袋 ※1袋消費したら1袋買い足す(1人1食75g程度)	乾麺 (うどん・そば・そうめん・パスタ) ・そうめん2袋(300g/袋) ・パスタ2袋(600g/袋)	
	カップ麺類×6個	パックご飯×6個	その他 (適宜) ・LL牛乳 ・シリアルなど
主菜 たんぱく質	レトルト食品 ・牛丼の素、カレー等18個 ・パスタソース6個	缶詰 (肉・魚) ・お好みのもの18缶	
副菜 その他 (適宜)	日持ちする野菜類 ・たまねぎ、じゃがいも等	調味料 ・砂糖、塩、しょうゆ、めんつゆ等	
	梅干し、のり、乾燥わかめ等	インスタントみそ汁や即席スープ	
	野菜ジュース、果汁ジュース等	チョコレートやビスケットなどの菓子類も大事!	

食品備蓄で備えよう

災害時に備え、食料を適切に備蓄することは非常に重要です。保存がきく食品を中心に、栄養バランスや家族の好みに配慮しながら備えましょう。ローリングストック法を活用すると、日常的に消費しながら備蓄を維持できます。また、水や調理器具の確保も忘れずに。災害時はライフラインが止まる可能性があるため、最低3日分、可能なら1週間分を準備するのが理想です。備えがあれば、いざという時の不安を減らし、冷静な対応が可能になります。



今のうちでできることで備えよう

災害はいつ起こるかわかりません。日頃からの備えが、いざという時の安心につながります。防災グッズや食品備蓄を見直し、できることから始めましょう。準備が整っていれば、冷静な判断と行動が可能になり、大切な人を守る力にもなります。

